

品質改善活動報告会を開催

三菱電機ロジスティクス株式会社は、2018年7月26日、本社(東京都渋谷区)において17年度の品質改善活動報告会を開催しましたのでお知らせいたします。

この報告会は、職場における全員参加型の品質改善活動の定着とナレッジ共有を目的として開催し、当日は海外拠点を含む7職場が、「輸送中の製品外装不良発生メカニズムの分析」、「入出庫作業におけるヒューマンエラーの撲滅」、「包装職場での情物一致確認作業におけるリスク対策」など、それぞれの実践活動を発表し、約70名の聴講者が発表を聴講しました。

審査では「全員参加の活動体制」「改善効果」「水平展開の可能性」など合わせて4項目の基準で、優秀賞3職場、奨励賞4職場を決定しました。

審査委員を代表して、取締役社長 原正一郎は、「昨年より活動内容が大いにレベルアップした。今回惜しくも優秀賞を逃した職場も審査結果は僅差であった。」と評価、さらに、「改善に立ち足る壁を乗り越えるためには苦勞が伴い、その壁を乗り越えるためには努力が必要である。これからも愚直に粘り強くやり続ける姿勢を大切にして欲しい。」と激励のメッセージを送りました。

優 秀 賞	商品事業部 中津川事業所
	産機事業部 稲沢事業所
	自動車事業部 三田事業所
奨 励 賞	電子事業部 東神戸事業所
	支店統括事業部 中部ロジスティクスセンター
	重機事業部 赤穂事業所
	菱電物流股份有限公司(台湾)



三菱電機ロジスティクス株式会社は、継続的な改善活動を通じて安全、品質、生産性の一層の向上を図り、お客様の期待に応える物流サービスを提供してまいります。

以上